



# 停電 操業再開阻む



浸水したホクトの赤沼きのこセンター。社員が泥にまみれた容器の撤去作業に追われていた=16日、長野市赤沼



水没した備品などを搬出するカイシン工業の社員ら=16日、長野市豊野町

長野

終末処理場停止  
排水自肃足かせ

台風19号によるインフラの被災が、県内企業の復旧を阻んでいる。千曲川が決壊した長野市穂保の堤防付近は16日も広い範囲で停電が継続し、復旧作業が難航。同市赤沼の終末処理場「クリーンア千曲」の浸水による機能停止を受けた排水自働要請が足かせとなり、操業を見合せているメーカーもある。

い。漫水被害を受けたホクト（同）のエリシンギ生産拠点「赤沼きのこセンター」では同日、社員らが散乱した容器や段ボールを片付けた。停電のため確認ができず、小松茂樹事務は「操業再開のめどは全く立たない」とする。

一方、建物の1階部分が水没した特殊樹脂開発・製造のニッキフロン（同）は、取引先などから複数の発電機を調達し、15日夕から2階事務所で電気を使えるようにした。森口孝之社長は「通信が安定

通しは現時点で立っていない「いい」としており、全容把握には時間がかかる見通しだ。グリーン長野農協(長野市)は16日、千曲川氾濫で管内の

リンドウの木が倒れるなど、1億3400万円、ナシが約6100万円など、の調査で被害額が変わることがあるという。上高井郡小布施町では、被害額が8400万円になることが判明した。リンゴが約8200万円、りが約170万円。同郷の農業農家伊藤成朋さんは、リンゴのシナノゴー、秋映の収穫直前で、「これは胸の近くまで水に満たした。木の下の方のリン

さうに増える見通しである。今後も落果被害が約一  
郡高山村はリンゴ栽培で、牛乳20万升、酪農でも停電で水  
害が出た。中野市はブドウの被害が軒並みで415万円余りと  
上田市は16日止で4500万円余りと作物被害がリソード  
心に約2500万円、や水路など農業用機械5100万円、田  
地の辺り落などで800万円の被害がある。小県郡青木村の同  
害は村特産のソバ栽培で約39万円の被害がある。

の強風によ  
り、上高井  
の被災施設が停  
止した。30万円の被  
害はリンク、  
一定の集計値  
だった。

## グリーン長野農協 農業被害2.1億円

した固定電話、ファックスが使  
え、スマートフォンの充電も  
できる。復旧の準備が格段に

らだ。同社管理部は「下水処理機能の回復を  
するを得ない」とする。

当面は業(長野市)は「調査に乗り出しあばかりで、また金銭はつかめない」とした。

はかどる」と話した。中部電力によると、長野市豊野町の豊野変電所などが浸水したため、豊野町や郡保で停電が長期化。同社担当者は「18日(復旧)を目指して作業を進めていた」とする。

断熱材など製造のニチアスセラテック(上水内郡飯綱町)の長野市豊野町の工場は浸水を免れたが、操業できない。

耐火性の高い断熱ボードは水を使つて織維を固める必要があるが、クリーンビア千曲の機能が停止し、市から下水道への排水自衛を要請されたか

キヨウデン(上伊那郡箕輪町)の東北事業所(福島県いわき市)は工業団地の送水ボンブが冠水で故障し、工業用水が供給停止になつたため、プリント配線板の生産量が低下。竹内製作所(塙科郡坂町)は、長野市内の部品調達先の企業数社が浸水被害を受けており、生産に影響が出る見込みとしている。

千曲川に近いためなかなか水が引かず、被害の確認に着手したばかりの企業も。長野市豊野町の本社工場が浸水し、た油圧制御機器製造の「科工

## 県内企業、復旧作業が難航

はかどる」と語った。

キヨウテン(上伊那郡箕輪

りの木が倒れるな  
1億3400万円、ナ  
が約6100万円など  
の調査で被害額が変わ  
性があるといふ。  
上高井郡小布施町で、  
被害額が8400万円で  
なることが判明した。一  
りが約170万円。同  
の兼業農家伊藤成朋さ  
は胸の近くまで水に濡  
た。木の下の方のリン  
歩道に散乱するリンゴや  
15日、小布施町飯田

さうに増える見通しである。今後も落果被害が約一  
郡高山村はリンゴ栽培で、牛乳20万升、酪農でも停電で水  
害が出た。中野市はブドウの被害が軒並みで415万円余りと  
上田市は16日止で4500万円余りと作物被害がリソード  
心に約2500万円、や水路など農業用機械5100万円、田  
地の辺り落などで800万円の被害がある。小県郡青木村の同  
害は村特産のソバ栽培で約39万円の被害がある。

の強風によ  
り、上高井  
の被災施設が停  
止した。30万円の被  
害はリンク、  
一定の集計値  
だった。



上田市国分

浸水した民家で泥出しのボランティアをする長野大生  
たち||15日前11時51分、上田市国分



立科町古町

立科町は32軒が床下、床上浸水。古町では住民やボランティアが片付け作業をした||15日午後1時15分

# 東信

上田支社 ☎0268-23-1200  
fax. 23-1202  
〒386-0018 上田市常田2-35-10

東御支局 ☎0268-62-4181  
fax. 62-4189  
〒389-0516 東御市田中178-17

佐久支社 ☎0267-62-2141  
fax. 62-2533  
〒385-0035 佐久市瀬戸1203-1

小諸支局 ☎0267-22-0480  
fax. 26-1286  
〒384-0023 小諸市東雲1-1-11

軽井沢支局 ☎0267-42-2536  
fax. 42-9120  
〒389-0102 北佐久郡軽井沢町  
軽井沢471-5



ガードレールなどが崩落した軽井沢町茂沢地区の道路。転落した車や倒木がそのままになっていた=15日午後4時24分

## 東信 動きだす支援 台風19号

台風19号で大きな被害を受けた東信地方。被災者を支援する大学生や住民らボランティアが動きだした。



大門川沿いの道路が崩れて通行止めになっている国道152号=15日午後1時27分、長和町大門



橋脚が沈み込んだ男橋  
(右奥)を視察する国土交通省の査定官(左から)||15日午前11時21分 川上村

## 東信



佐久市コスモホール（下小田切）は台風19号により電気系統が浸水し、休館が続いている。10月中に同ホールで行われる催しは中止。だが、16日にホールを訪れる休館を知った人からは「もと早く連絡してほしいな」との声が上がった。

「今日は臨時休館となつてます。迷惑をおかけします」。ホール職員は同日、予定していた催しのためにホールを運営する市文化事業団によると、台風が最接近した12日、ホール近くの農業用水からあふれた水が、主に地下の機械室に流れ込んだ。ホールは急きよ開館。翌日調べると、機械室は浸水しており停電している。併設の図書館も休館中だ。

消防団や地元業者が、連日排水などに当たっているが、復旧の見通しは立っていない。

同事業団は「不便をかけて申し訳ない」と

している。

消防団や地元業者が、連

日排水などに当たっているが、

復旧の見通しは立っていない。

同事業団は「不便をかけて申し訳ない」と

している。

消防団や地元業者が、連

# 諏訪

## 台風19号



列ができるJR上諏訪駅のみどりの窓口。特急あづさ運休の影響で、切符を買い換える人らが訪れた=16日午前11時半ごろ、諏訪市

台風19号の影響で、JR中央東線は特急あづさの運休が続き、中央道、国道20号も通行止め区間が解消されず、都心からアクセスしにくい「陸の孤島」と化した諏訪地方。行楽客や登山客は目に見えて減少しており、17～19日に諏訪市で開く工業展「諏訪圏工業メッセ2019」の客足への影響も避けられない状況だ。諏訪地方の企業も出張を手控えるなど支障が出始めており、交通網の早期復旧を望む声が強まっている。

# 諏訪地方「陸の孤島に…」

あづさ・中央道・国道 都心からアクセスしにくく

## 観光・企業活動に影 早期復旧望む声

16日前、諏訪市のJR上諏訪駅は、特急あづさの切符を払い戻したり、長野経由で東京に向かう切符に買い換えたりする人が列をつづた。運行状況や乗り継ぎを案内する張り紙を食い入るようになる人もいた。諏訪市の会社員松口恵実梨さん(25)は17日、長野経由で研修がある東京に向かうことになり、あづさを使うより1時間以上時間がかかるが、「大変な状況なので、しようがない」。東京都の会社員男性(44)は15日中に新幹線で名古屋に入つて1泊し、中央西線で特急しなのなどを使って上諏訪駅に到着。「疲れただれど、これから仕事。早く復旧してほしい」と話した。

JR東日本長野支社によると16日時点では、線路への土砂流入などで中央東線大月(山梨県大月市)～高尾(東京都八王子市)間で運転できない状態。普通列車は折り返し運転をしているが、特急あづさは10月末ごろまで運休する見通しだ。中央道、国道20号も山梨県内に通行止め

八ヶ岳山麓の紅葉が最盛期を迎えた茅野市。あづさ運休に加え、同市北山の国道299号(ヘルン街道)の路面が一部陥没し、佐久穂町と小海町の境にあ

る白駒池に同市側からアクセスできない状況だ。「紅葉が終わるまでに復旧が間に合うといふ」と担当者は「陸の孤島」としての諏訪地方の登道も各所で寸断しており、問い合わせが相次いでいる。17日からの諏訪圏工業メッセの実行委員会を務めるNPO法人諏訪圏ものづくり推進機構(諏訪市)にも全国から開催の有無や交通状況を問い合わせる電話が1日数十件寄せられている。同推進機構の小坂和夫常務理事は「来場者はだいぶ減るのではないか」としている。

企業活動への影響もじわり。セイコーエプソン(諏訪市)は「不要不急の出張は控えて、テレビ電話を使った会議で対応するように」と社員に呼び掛け、日本電産サンキヨー(下諏訪町)では自主的に首都圏への出張を控える動きがあるという。

「諏訪地方は陸の孤島化している」。岡谷市の今井竜五市長は16日、諏訪地方の基幹産業である観光や製造業などへの影響を懸念し、こう強調。「災害によることがあるが、一刻も早い復旧をお願いしたい」と話した。